グローバル化する地域のソーシャルワークとリハビリテーション

The Social Work and Community Based Rehabilitation at Glocalized Society

企画者・司会者 山田 健司（帝京科学大学）

話題提供者 Melvin Jabar (De La Salle University)

Johanna Zulueta (Soka University)

Dorothy Dimaandal (Davao Regional Medical Center)

概要

前例のない程の人口減少と高齢化が、日本社会で加速しています。そして日本を世界中が見つめている、何が起こりつつあるのかと。国家のアイデンティティが、経済、人、物、情報そして環境などほぼすべての分野が一体化するなかで、「グローバル」に包摂されつつあるようもみえます。この現象の究極点は、わたしたちの生活が展開する場所、すなわち「地域=ローカル」です。これが「グローバル」の所以なのでしょう。

このシンポジウムでは、世界トップスピードの「人口減少高齢化社会」と「グローバル」の掛け算を試みます。具体には、個々の地域の特性や環境を基盤に展開するリハビリ(医療、リハ、福祉、介護等の一体化)、高齢化する日本在住外国人、グローバル社会におけるソーシャルワーク、の視点からアジア気鋭の若手研究者たちが、掛け算を展開します。正解は出せないでしょうが、いま直面している大課題を少しでも前向きに正視する、という試みでもあるのです。